

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	工業科教育法 (A Method of Industrial Education)		
ナンバリングコード	K20202	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	4	配当学年 / 開講期	3年 / 通年
必修・選択区分	教職関係科目(必修): 高等学校教諭一種免許状(工業)		
授業コード	K001901	クラス名	-
担当教員名	高山 勲		
履修上の注意、履修条件	工業高校の教員に必要な教科-工業免許取得のため必要です。工業免許取得を考えている方は、学部・学科を問わず必ず受講してください。 将来教師になるのに相応しい服装及び学習態度で授業に臨むこと。		
教科書	工業科教育法の研究 (実教出版)		
参考文献及び指定図書	高等学校学習指導要領解説 工業編 文部科学省		
関連科目	教職概論、職業指導、教育方法技術論		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	教育実習に基づき工業教育の意義・歴史と現状更に基礎科目等を高等学校指導要録「工業編」に基づいて講義をおこない、模擬講義の基礎を身に付けます。これ模擬講義の基礎をもとに講義では、受講者全員に模擬講義をおこない教育実習の基礎力をみにつけます。
授業の概要	講義の前半は、工業教育の歴史と日本の産業の発達には工業教育が基礎になっています。このことを理解する目的で工業技術と工業教育の歴史を解説します。後半は学習指導要録について解説します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 模擬授業 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	工業教育とはなにかを理解する	40点		
【知識・理解】	教材・教具について理解する		25点	
【技能・表現・コミュニケーション】	板書について理解する 生徒(受講生)とコミュニケーションができる			25点
【思考・判断・創造】	生徒理解のため教材・教具を発想する力		10点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) 前期末に試験をおこない。あと、レポート提出や模擬講義で評価します				

○その他
教師は、教科書を読んだり、生徒にあてて教科書を読ませます。このため各講義の前には指定されたページまで必ず読んでおいてください。時々読ませることもありよければ加点する場合があります 教材の作り方は、10年ほど前ですが、私の経験をもとに作成方法と問題点などを論じていきます

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：工業科教育法（A Method of Industrial Education） 担当教員：高山 勲	授業コード：K001901
<b>学修内容</b>		
1.	成績評価と前期試験の内容説明。後期の模擬講義説明後に工業教育の意義と役割を説明していく	
	予習：工業科教育法の研究P9からP16まで 復習：講義時間で終了したページまでの復習特に工業目標を課題	(約2.0h) (約2.0h)
2.	工業教科の内容テクノロジストについて 工業教科科目は、工業技術基礎をはじめとする59科目あるこれらの科目の概要を説明する。 工業高校の目指す人物像について説明を行う	
	予習：工業科目がどのくらいあるのか調査しておく 復習：テクノロジストについてまとめる	(約2.0h) (約2.0h)
3.	学校教育法について説明を行う。 法律で定められた学校とはどのような学校があるのか、また、設置基準・施行令さらに産業教育振興法について説明を行う	
	予習：P2からP31を読んでおく 復習：日本国憲法を復習しておく	(約2.0h) (約2.0h)
4.	工業高校発展の歴史と現状 明治維新後国を立てることができる技術力と優れた技術・技術者を育成を作り上げた時代背景と工業教育が整備されるまでの過程を説明する。	
	予習：P3からP40までを熟読しておく 復習：課題プリント	(約2.0h) (約2.0h)
5.	工業高校発展の歴史と現状 日本の工業の歴史は、明治維新後の近代技術の導入・定着の時代と第二次大戦後の再生。発展の時代に分けられる。 戦後の工業教育の発展・拡大について説明する	
	予習：P40～P43までを読んでおく。 復習：課題プリント	(約2.0h) (約2.0h)
6.	工業科科目は59科目あるこれをすべて解説するのは無理がある。このため、原則履修科目の「工業技術基礎」「課題研究」の2科目と平成30年告示があるこれらの目標・指導項目・内容について説明する	
	予習：P50～53まで読んでおく 復習：課題プリント。小テストに備えてのテスト勉強	(約2.0h) (約2.0h)
7.	復習テストと解説。第6講義までをまとめとしてテストを行い。解説をします。	
	予習： 復習：	(約2.0h) (約2.0h)
8.	教育課程の編成と単元計画まで 教育課程の意義、役割、構成などについて説明していきます	
	予習：P104～123まで読んでおく 復習：課題プリント	(約2.0h) (約2.0h)

○授業計画	科目名：工業科教育法（A Method of Industrial Education） 担当教員：高山 勲	授業コード：K001901
<b>学修内容</b>		
9.	教育実習について 教育実習の意義を解説し 評価方法の説明もおこないます。	
	予習：P124～P144 まで読んでおく 復習：復習課題	(約2.0h) (約2.0h)
10.	教育論の歴史的展開のうち説明します。	
	予習：P145～P158までを読んでおく 復習：	(約2.0h) (約2.0h)
11.	教材と教具・情報機器の活用 教材と教具の違いを説明し教材の作成方法について説明します	
	予習：P169から175まで読んでおく 復習：	(約2.0h) (約2.0h)
12.	教材と教具・情報機器の活用 情報機器の活用例えばプロジェクターの利用方法電子黒板の利用方法などについて説明します	
	予習：P169から175まで読んでおく 復習：	(約2.0h) (約2.0h)
13.	工業教育と進路指導についてz工業こうこうにおける進路指導の実態生き方としての進路指導について説明します。	
	予習：P176～P182までを読んでおく 復習：	(約2.0h) (約2.0h)
14.	学校運営と教育向上へのとりくみについて 学校運営や学校組織校務分掌について説明します。	
	予習： 復習：	(約2.0h) (約2.0h)
15.	今後の工業教育について説明します。	
	予習： 復習：	(約2.0h) (約2.0h)
16.		
	予習： 復習：	(約2.0h) (約2.0h)

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画 科目名：工業科教育法 (A Method of Industrial Education) 担当教員：高山 勲 授業コード：K001901	○授業計画 科目名：工業科教育法 (A Method of Industrial Education) 担当教員：高山 勲 授業コード：K001901
学修内容	学修内容
17.	25.
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
18.	26.
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
19.	27.
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
20.	28.
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
21.	29.
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
22.	30.
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
23.	31.
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)
24.	32.
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)	予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)